

子どもたちを大切に育み、 子育ての喜びを分かち合える徳島を目指して

次代の社会を担う子どもたちの誕生と健やかな成長は、県民すべての願いです。

本県では、子どもたちの思いや夢を大切にし、共に育む社会づくりを目指して、平成17年3月に「徳島はぐくみプラン」を策定し、その後も改定や第2期計画の策定を行うなど、切れ目なく次世代育成の取組みを推進してきました。

この間、我が国では、少子高齢化や東京一極集中が一段と進行し、平成28年に100万人を割り込んだ出生数は、令和元年12月の人口動態統計では86万4千人と推計されており、減少スピードが加速し、将来社会の維持が危ぶまれる、まさに「国難」と呼ばれる状況にあります。

また、待機児童の発生や児童虐待の相談件数の増加をはじめ、子どもが被害者となる事件、事故が頻繁に報道されるなど、今日の子ども・子育てを取り巻く環境は厳しさを増しています。

これに対して、国は、「働き方改革関連法」の施行や「幼児教育・保育の無償化」の開始など、仕事と生活の調和した社会や全世代型社会保障制度の実現に向けた取組みを推進しています。

県では、こうした時代の潮流を的確に捉えるとともに、国連の持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献も視野に入れつつ、直面する少子化や子どもを取り巻く今日的課題に対応するため、「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」を策定しました。

今後は、本計画のもと、市町村をはじめ、家庭や学校、地域、企業など、あらゆる主体と連携、協働しながら、結婚、出産、子育ての希望がかない、安心して子どもを生み育てることができる徳島の実現に全力で取り組んで参りますので、県民の皆様の一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見を賜りました徳島県少子化対応県民会議の委員各位をはじめ、パブリックコメントにご協力いただきました県民の皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和2年3月

徳島県知事 飯 泉 嘉 門

第2期 徳島はぐくみプラン（後期計画）

徳島県次世代育成支援行動計画

目次

第1章 行動計画の策定にあたって

1	計画改定の趣旨	3
2	計画の位置づけ	4
3	計画の推進期間	4
4	計画の基本理念	5
5	計画を推進する上での基本方針	5
6	計画の推進体制	8
7	計画の進行管理と評価	10

第2章 本県の現状と課題

1	少子化の現状	
	(1) 本県の将来人口の見通し	13
	(2) 出生数と合計特殊出生率の低下	14
	(3) 年少人口の減少	15
	(4) 人口流出の状況	16
	(5) 人口減少による影響	16
2	少子化の主な要因と背景について	
	(1) 未婚化・晩婚化の進行	17
	(2) 晩産化の進行	19
	(3) 結婚に対する意識の変化	20
3	子育てを取り巻く環境の変化	
	(1) 理想とする子ども数と、予定する子ども数	21
	(2) 家庭の子育て力の低下	23
	(3) ひとり親家庭の状況	24
	(4) 労働形態の変化	25
	(5) 保育所等の利用状況	26
4	子どもを取り巻く環境の変化	
	(1) 増加する児童虐待	27
	(2) 子どもが被害者となる犯罪	28

5 県民の子育てに関する意識、希望する子育て支援施策	
(1) 県民の子育てへの意識	29
(2) 県民の希望する子育て支援施策	31

第3章 具体的な取組み

施策体系	35
I 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう環境づくり	
1 結婚の希望をかなえる支援の展開	37
2 妊娠・出産・乳幼児支援の充実	39
3 多様な子育て支援の展開	41
4 ひとり親家庭の自立の支援	44
II あらゆる主体が協働して子どもを育む社会づくり	
1 仕事と子育てを両立できる環境づくり	46
2 女性の社会活躍と男性の育児参画の推進	49
3 地域社会による子育て支援	52
4 安全・安心で快適なまちづくりの推進	54
III 子どもや若者が幸せを実感し、住みたいと思う地域づくり	
1 子ども・若者の健全育成の推進	59
2 若者の経済的自立への支援	66
3 困難な環境に置かれた子ども・若者への支援	68
4 特別な配慮を必要とする子どもへの支援	75

第4章 計画の目標

用語解説	89
------	----

本文中で右側に*印の付いている用語について解説しています。

参考資料

1 第2期 徳島はぐくみプラン（後期計画）策定経過	97
2 徳島県少子化対応県民会議委員名簿	98
3 少子化対策の経緯	99
4 徳島はぐくみ子育て憲章	101
5 徳島県子どものはぐくみ条例	103